



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

				5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot		3.1510	3.1660	3.1890	3.1780	-0.0110
	BRL/JPY	Spot		35.54	35.60	35.27	35.47	+0.20
	EUR/USD	Spot		1.0929	1.0887	1.0983	1.0998	+0.0015
	USD/JPY	Spot		112.00	112.72	112.45	112.71	+0.26
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)		9.73	9.63	9.71	9.61	-0.1041
	Future	1Year(p.a.)		9.27	9.22	9.28	9.22	-0.0630
	On-shore	6MTH(p.a.)		1.881	1.914	1.923	1.881	-0.042
	USD	1Year(p.a.)		2.072	2.048	2.043	1.996	-0.047
株式	Bovespa指数			66,721.75	66,093.81	64,862.61	65,709.75	+847.14
CDS	CDS Brazil 5y			213.00	210.07	215.74	213.20	-2.54
商品	CRB指数			180.339	180.399	177.008	177.92	+0.916

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.14台へ上昇後、週後半にかけて3.19台まで売られる展開。
- メーデーによる祝日で2日からの取引となったレアルは3.1680で寄り付いた。先週末28日に実施された改革反対勢力による全国規模のストでは大きな混乱は見られず、週前半のレアルは3.14台を回復するなど堅調に推移した。週央には米FOMCを受けたドル買いや原油価格下落によるリスクオフの動きから安値3.1950まで売られたが、下院で年金改革に進捗が見られる中、大きく売り込まれる動きとはならなかった。週末に決選投票を控える仏大統領選について中道候補マクロン氏の優勢が報じられる中、週後半はユーロが主要通貨に対して上昇。ドルレアルは方向感を欠く動きが続き、予想よりも良好だった米雇用統計にも反応は限定的。週末にかけては3.17台での小幅な値動きが続き、結局3.1780で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.43%から0.46%へ上方修正、2018年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2017年が4.04%から4.03%へ、2018年は4.32%から4.30%へ下方修正された。為替レートは2017年末が3.23、2018年末は3.38で据え置かれた。
- 3日、下院特別委員会は年金改革案の変更案について賛成23票、反対14票で承認した。62%の賛成票を得たが、下院本会議において同法案の承認に必要な308票（下院議員の60%）を獲得出来るかは依然として不透明な状況。また、メイレス財務相は法案の内容変更により支出削減効果が24%減少するとの見方を示した。
- 4日、WTI先物が1バレル45ドル台半ばへ急落。米国による供給増加が主要産油国による減産合意の効果を打ち消しているとの見方が強まったことが背景。その後の時間外取引では昨年11月以来となる43.76ドルまで売られ、減産合意前の水準まで下げた。

3.今週のチャート&ハイライト



FOMCを受けて6月の米利上げ期待が拡大

2日、3日に開催された米FOMCでは政策金利を現状の0.75%-1.00%に据え置くことを決定した。第一四半期GDPが低成長となったことを一時的なものと判断。景気見通しに自信を示し、緩やかな利上げを継続する姿勢が示された。これを受けて米国債利回りは上昇、ドルが主要通貨に対して買われた。金利先物市場が織り込む6月の利上げ確率はFOMC前は約67%の水準だったが、5日時点ではほぼ確実に利上げが実施されることを織り込んでいる。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10—3.20

今週末に行われる仏大統領選で予想通り中道候補のマクロン氏が勝利すると見られる中、これを受けたリスクオンの動きと年金改革法案を巡る警戒感から来週のレアルは方向感に乏しい動きが続くものと予想する。下院特別委員会で承認された年金改革案の修正案について、下院本会議での審議は9日に再開される予定。5月後半の下院での投票に向けた同法案を巡る動きに注目したい。また、10日には4月のインフレ率(IPCA)が発表予定。伯中銀による金融緩和ペース加速の背景となっているインフレ率の低下について内訳に注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	自動車生産台数(ブラジル自動車工業会)	--	191069	234746
ブラジル	自動車販売台数(ブラジル自動車工業会)	--	156894	189149
ブラジル	自動車輸出(ブラジル自動車工業会)	--	58753	68482
米	非農業部門雇用者数変化	190k	211k	98k
米	失業率	4.6%	4.4%	4.5%
米	平均時給(前月比)	0.3%	0.3%	0.2%
米	労働参加率	--	62.9%	63.0%
米	消費者信用残高	\$14.000b	\$16.431b	\$15.206b

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	5/8	FGV CPI IPC-S	May 7	0.22%	0.12%
ブラジル	5/8	貿易収支(週次)	May 7	--	\$1769m
ブラジル	5/9	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Apr	2.98%	4.41%
ブラジル	5/10	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Apr	4.10%	4.57%
米	5/10	輸入物価指数(前月比)	Apr	0.2%	-0.2%
米	5/10	月次財政収支	Apr	\$177.0b	-\$176.2b
ブラジル	5/11	FIPE CPI-週次	May 7	0.55%	0.56%
ブラジル	5/11	IGP-M Inflation 1st Preview	May	-0.58%	-0.74%
ブラジル	5/11	小売売上高(前月比)	Mar	-0.7%	-0.2%
米	5/11	PPI 最終需要(前月比)	Apr	0.2%	-0.1%
ブラジル	5/12	IBGEサービス部門売上高 前年比	Mar	-4.0%	-5.1%
米	5/12	消費者物価指数(前月比)	Apr	0.2%	-0.3%
米	5/12	小売売上高速報(前月比)	Apr	0.6%	-0.2%
米	5/12	ミシガン大学消費者マインド	May	97.0	97.0
米	5/12	企業在庫	Mar	0.1%	0.3%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身で判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。